

2022年5月20日
みずほ証券株式会社

丸紅株式会社と英国 bp 社との洋上風力開発に関するパートナーシップ 契約締結におけるフィナンシャルアドバイザーについて

みずほ証券株式会社(以下「みずほ証券」)は、丸紅株式会社(以下「丸紅」)と英国統合エネルギーゲームジャーである BP p.l.c(以下「bp 社」)の 100%子会社で再生可能エネルギー事業に取り組む BP Alternative Energy Investments Limited(以下「BPAEIL 社」)との間での洋上風力の共同開発および水素を含む脱炭素化を目的としたプロジェクトの共同開発におけるパートナーシップ契約(以下「本パートナーシップ」)の締結に際し、丸紅のフィナンシャルアドバイザーを東京およびロンドン拠点が連携して務め、このたび完了いたしました。

本パートナーシップにおける取り組みの第一歩として、日本における洋上風力発電事業の一つの案件で共同開発を進めるべく、丸紅の特別目的会社へ BPAEIL 社が 49%の出資を実施しました。また、bp 社は本パートナーシップに関連して新たに洋上風力開発チームを日本に設立します。脱炭素に向けた戦略的なパートナーシップの締結により、本邦における持続可能な社会の実現に向けた取り組みがさらに加速するものと期待しております。

丸紅は、日本を含む世界 21 カ国で総合商社の中では最大規模となる持分容量約 12GW の発電資産を保有・運営しています。丸紅は、これらの発電事業で得られた知見・経験をもとに、世界各国での洋上風力発電事業の拡大を目指しており、世界に先駆け、大規模浮体式洋上風力の実現を目指して福島浮体式洋上ウインドファーム実証研究事業に参画し、国内初となる大規模商業ベースの洋上風力案件である秋田港・能代港洋上風力発電事業にも参画しました。さらに 2022 年 1 月には英国スコットランドにおける最大設備容量 2,600MW の浮体式洋上風力発電事業を開発するための海域リース権益を獲得する等、丸紅は洋上風力開発における本邦リーディングカンパニーです。

bp 社は、日本においては 1960 年から大規模な石油ならびに LNG のトレーディング事業とカストロール潤滑油事業を展開しており、また、米国と英国においては既に持分容量 5GW を超える洋上風力プロジェクトを開発しております。bp 社は、2019 年から再生可能エネルギー事業を従来の 4 倍の規模にあたる 24GW を超える開発を手掛けており、2025 年目標である 20GW を既に達成しています。

みずほ証券は持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化しています。これまでも脱炭素化を推進する事業への助言やグリーンボンドをはじめとするサステナブル・ファイナンスのストラクチャリングを通じて再生可能エネルギー開発の取り組みを支援してきました。今後も(みずほ)は総合金融グループとしての知見を活かし、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでまいります。

以上